

《担当者名》○鈴木 和 suzuki_w@hoku-iryu-u.ac.jp 向谷地生良

【概要】

本科目では、「精神保健福祉の原理」の学習を踏まえ、精神保健医療福祉に関する法的変遷を含めて、当事者が置かれてきた環境、そこにおける精神保健福祉士の存在意義について理解し、精神保健福祉士としての見方や考え方、行動がより具体的にできるようになることを目的とする。

【学修目標】

- 1 障害者、特に精神障害者が置かれてきた環境や処遇について、歴史的変遷も含めて要点を説明できる。
- 2 精神障害者が抱える生活上の生きづらさについて、それらへの取り組みも含めて説明ができ、意見が述べられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学習の目的・内容の説明 この科目の概要を理解する。	鈴木、向谷地
2	障害者福祉の理念と、近年の取り組み	近年の「障害」の捉え方や障害者福祉の理念について学び、グループワークを通じて理解を深める。	鈴木
3	障害者福祉の理念と、近年の取り組み	近年の日本の風土や国民性を踏まえた精神障害に関する出来事について知り、意見を述べる。	鈴木
4	精神障害と精神障害者の概念	精神保健福祉法における「精神障害者」の定義についてグループワークを通じて理解を深め、自分の意見を述べるができる。	鈴木
5	精神障害と精神障害者の概念	「精神疾患」と「精神障害」の区分について事例を通して理解を深め、自分の意見を述べる。	鈴木
6	諸外国における近年の精神保健福祉の取り組み	精神障害者を取り巻く海外における社会の理解や取り組みを知る。	鈴木
7	日本における近年の精神保健福祉の取り組み	精神障害者を取り巻く日本における社会の理解や取り組みを知る。	鈴木
8	精神障害者の生活の多様化	精神障害に関する精神科医療による生活への影響について知り、自分の意見を述べる。	鈴木
9	精神障害者の生活の多様化	日本の精神保健福祉施策における精神障害者家族の置かれている状況について知り、自分の意見を述べる。	鈴木
10	精神保健福祉の理念と概念	日本の精神保健医療政策に関する近年の取り組みについて知り、精神保健福祉士の存在意義について、グループワークを通じて理解を深める。	鈴木
11	精神保健福祉の理念と概念	日本の精神保健医療政策に関する近年の取り組みについて知り、精神保健福祉士の存在意義について、自分の意見や考えを述べるができる。	鈴木
12	精神保健福祉に関する取り組み	特別講師の講話に関して質疑応答を通じて理解を深める。	札家連（特別講師） 向谷地
13	精神保健福祉に関する取り組み	特別講師の講話に関して質疑応答を通じて理解を深める。	矢部 滋也（特別講師） 向谷地
14	本科目のまとめ	本科目で学んだことについてグループディスカッションを通じて理解を深める。	鈴木
15	本科目のまとめ	本科目で学んだこと、前回のグループディスカッションで得た学びについて、自分の意見や考えを述べるができる。	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 100%

【教科書】

最新 精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理 中央法規出版

【参考書】

その都度、資料を配布する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための、「精神保健福祉の原理」に該当する。

【学修の準備】

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を読んで予習しておくこと（80分）

毎回の授業終了後に提示した課題について調べ、まとめることにより学習を深めること（80分）

課題レポートは授業の進行具合に応じて、回数を設定する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

鈴木 和（社会福祉士、精神保健福祉士）

向谷地 生良（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神科医療機関や精神保健福祉行政における精神科ソーシャルワーカーとしての実務経験に基づき、実践的な教育を行う。